

1 予算の概要

(1) 基本的な考え方

令和2(2020)年度当初予算は、国の積極的な経済対策等により、地方における経済の好循環の前向きな動きが生まれ始めているなか、町田市においては、歳入の大宗を占める市税が伸び悩む一方で、歳出では社会保障費が伸び、構造的収支不足の顕在に加え、会計年度任用職員制度の導入に伴う人件費の増加、消費税率の引上げによる影響の通年化に伴う経費の増加、老朽化する公共施設等の維持保全に係る経費が増大する等、依然として厳しい財政状況が続く中での予算編成となりました。

2020年度は、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」の9年目にあたり、またその実行計画である「町田市5ヵ年計画17-21」の4年目となり、集大成の時期を迎えています。計画における目標達成に向けた取り組みを着実に実行し、15年後も30年後も選ばれ続けるまちであるため、次の点を基本に編成しました。

- 「まちだ未来づくりプラン」に定めた、5つの「未来づくりプロジェクト」や4つの「まちづくり基本目標」、3つの「行政経営基本方針」を着実に推進します。
- 「町田市5ヵ年計画17-21」の4年目として、目標の達成に向けた取り組みを着実に実行します。
- 「東京2020オリンピック・パラリンピック」を、まちの魅力を発信する絶好の機会と捉え、シティセールス・シティプロモーションのための取り組みを展開します。
- 「まちだ〇ごと大作戦18-20」の最終年度であることから、これによって生まれた地域の盛り上がりと多くのつながりを、継続させるための取り組みを推進します。
- 多摩都市モノレールの延伸によって町田駅前やその沿線及び道路空間など大きく様変わりすることから、その将来像を共有し、快適かつ魅力的なまちづくりを推進します。



東京都

まちだ未来づくりプラン

5つの「未来づくりプロジェクト」

- 地域社会づくりを基本とするまちづくりプロジェクト
- 町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト
- 団地再生に向けたプロジェクト
- みどりを活用したまちづくりを推進するプロジェクト
- 基幹交通機能を強化するプロジェクト

3つの「行政経営基本方針」

- 市民と問題意識を共有し、共に地域課題に取り組む
- 市民の期待にこたえられるよう、市役所の能力を高める
- いつでも適切な市民サービスが提供できる財政基盤をつくる

4つの「まちづくり基本目標」



将来を担う人が育つまちをつくる



安心して生活できるまちをつくる



賑わいのあるまちをつくる



暮らしやすいまちをつくる

(2) 予算規模

一般会計と特別会計とを合わせた総予算額は、2,876億9,931万円で、対前年度比較で158億3,762万円（5.8%）の増加となりました。

（単位：千円・％）

区 分	2020年度		2019年度		比 較		
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率	
一 般 会 計	166,103,888	57.7	159,760,608	58.8	6,343,280	4.0	
特 別 会 計	国民健康保険 事業会計	40,236,641	14.0	41,288,734	15.2	△ 1,052,093	△ 2.5
	介護保険事業会計	35,427,828	12.3	34,324,516	12.6	1,103,312	3.2
	後期高齢者医療 事業会計	11,846,530	4.1	11,445,451	4.2	401,079	3.5
	鶴川駅南土地地区画 整理事業会計	69,166	0.0	—	—	69,166	—
	下水道事業会計※	17,841,273	6.2	9,483,085	3.5	8,358,188	88.1
	収益的	12,411,090	4.3	—	—	—	—
	資本的	5,430,183	1.9	—	—	—	—
	病院事業会計	16,173,983	5.7	15,559,294	5.7	614,689	4.0
	収益的	14,947,367	5.2	14,594,679	5.4	352,688	2.4
	資本的	1,226,616	0.5	964,615	0.3	262,001	27.2
小 計	121,595,421	42.3	112,101,080	41.2	9,494,341	8.5	
合 計	287,699,309	100.0	271,861,688	100.0	15,837,621	5.8	

※下水道事業会計の2020年度予算額は、2020年4月からの地方公営企業法適用を受け、減価償却費等を含めた金額となっています。

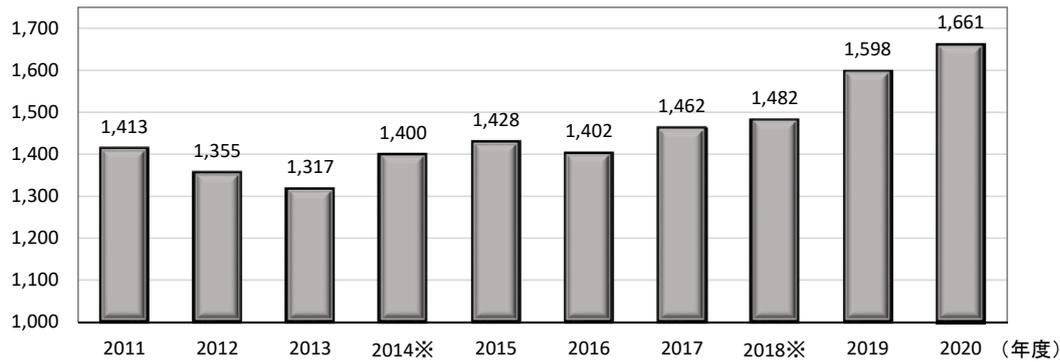
① 一般会計予算規模

2020年度の一般会計予算規模は、1,661億389万円で、対前年度比較で63億4,328万円（4.0%）の増加となりました。

これは、南町田駅周辺地区拠点整備事業が25億7千万円減少したものの、循環型施設整備事業が54億5千万円、野津田公園スポーツの森整備事業が30億5千万円、小・中学校体育館空調設備設置事業が11億8千万円それぞれ増加したことなどによります。

2020年度は、「町田市5ヵ年計画17-21」の4年目にあたることから、その進捗状況を確認し、計画の集大成に向けて、着実に目標を達成するための予算を計上しています。引き続き、熱回収施設等の整備工事、陸上競技場観客席の増設工事、鶴川駅周辺のまちづくりを推進します。また、今夏行われる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の応援、日本ユニセフから委嘱を受けた子どもにやさしいまちづくりの推進、熱中症対策を図るため、小・中学校体育館空調設備の設置など、今後、町田市が市内外からの関心と憧れを高め、選ばれ続ける街となるため、未来への投資を積極的に行います。

■ 一般会計当初予算規模の推移と伸び率（単位：億円）



年度	2011	2012	2013	2014*	2015	2016	2017	2018*	2019	2020
伸び率 (%)	6.2%	△ 4.1%	△ 2.8%	6.3%	2.1%	△ 1.8%	4.2%	1.4%	7.8%	4.0%

※2014年度及び2018年度は、当初予算が骨格的予算のため、6月補正後の予算額です。

② 特別会計予算規模

特別会計の主な増減要因

〔国民健康保険事業会計〕

被保険者数の減などにより 10 億 5 千万円の減

〔介護保険事業会計〕

要介護者認定者数及びサービス受給者数の増により 11 億円の増

〔後期高齢者医療事業会計〕

被保険者数や医療費の増により 4 億円の増

〔鶴川駅南土地区画整理事業会計〕

鶴川駅南土地区画整理事業の新設により 7 千万円の皆増

〔下水道事業会計〕

地方公営企業法適用に伴い減価償却費を含めたことなどにより
83 億 6 千万円の増

■ 2020 年度 会計別予算構成（単位：千円）

